

[CASE 04]

ひらた えみ たいら あゆみ せいの みか
平田 恵美さん 平 歩さん 清野 美香さん
おかだ あさみ わたなべ ともみ
岡田 麻美さん 渡部 知史さん

長井市消防団 第2分団

子どもからお年寄りまで、 全ての人に自分を守る術を伝えたい



地域のフットサルサークルが中心となって創設されたという長井市の女性消防団には、今では総勢11名が在籍。“予防消防を考える女性の会”として活動していた経緯から、防火指導や住宅用火災報知器のPR活動などで中心的な役割を担う組織となっています。

「市内の小学校や“西置賜防災フェスタ”で定期的に子ども向けの大型紙芝居を上演しています。子どもは時に予想もしない行動をとりますから、しっかりと防災知識を身に付けてもらうことは大切です」

子ども達の気持ちに寄り添って作り上げたオリジナル紙芝居。代表の岡田さんは、紙芝居に見入る子ども達の表情を見た時に最もやりがいを感じると語り、メンバー全員がそれに大きくうなずきます。

「私たちが消防団に入団するまで防災の知識はほとんどありませんでした。ですからなおさら、防災の大切さを伝え続ける必要があると思うんです」

地域全体で街の安全・安心を守るため、長井市女性消防団の皆さんは啓発活動を続けています。

Q1 消防団はどんな雰囲気ですか？

私たちは、たとえば紙芝居の打合せをするときには、活発な意見交換を行いながらも、同時にお互いを尊敬することができるとても良いチームだと実感しています。集まったメンバーの職業はさまざまで、地元で生まれ育った人や県外から移住してきた人など背景も人それぞれ。いつも新しい発見やアイデアが湧き出る楽しい雰囲気です。



Q2 仕事や私生活と両立できますか？

家族や職場からの理解はもちろん大切ですが、もし都合がつかず活動に参加できないことがあっても大丈夫。他のメンバーがそれを補ってくれますし、逆に自分が他のメンバーを支えることもあるかと思います。チーム活動になりますので、先輩団員に相談したり、頼っていいと思いますよ！



学童クラブでの仕事にも、
自分たち家族のためにも
なるスキルや知識が身に
付けられて楽しいです！

1

2

3

4

1. 西置賜防災フェスタで大型紙芝居を上演しました
2. 商業施設での啓蒙活動。火災報知器の大切さを呼びかけます
3. いざという時に役立つスキル。消火器の正しい使い方を実技講習
4. お年寄りのお宅に戸別訪問。地域の絆を感じる瞬間でもあります